

第6回国際シンポジウム 開催報告

開催日：2003年11月21日

会場：国際文化会館

参加者：105名

テーマ：企業の持続的成長と経営倫理 ～最近の欧州におけるCSR活動をふまえて～

2003年の第6回は、最近ヨーロッパ諸国で進められているCSR活動の状況と見通しについてCSRヨーロッパからシニアディレクター カテリーン・ベッセル氏の迎え、企業の社会的責任のあり方、今後の課題などをお話しいただいた。また、パネル討議では、ベッセル氏をはじめ、ダリル・ケーン氏（米国セント・トーマス大学教授）、ロバートグロンディン氏（前在日米国商工会議所会頭）、佐伯貴志氏（富士ゼロックス調査部）、伊吹英子氏（野村総合研究所主任コンサルタント）の五氏がパネラーとして参加し、それぞれの立場からCSRの重要性を強調し、熱心な討議が進められた。



【スケジュール】

13:00-13:20	開会挨拶 本テーマの趣旨と課題 水谷雅一（経営倫理実践研究センター会長）
13:20-14:45	特別講演「ヨーロッパにおけるCSR」 カテリーン・ベッセル氏 （CSRヨーロッパシニアディレクター）
15:00-17:30	パネルディスカッション テーマ「CSRと経営倫理の今後の展開」 パネラー C. ベッセル氏（CSRヨーロッパシニアディレクター） ダリル・ケーン氏（米国セントトーマス大学教授） ロバート・グロンディン氏（前在日米国商工会議所会頭） 佐伯 貴志氏（富士ゼロックス調査部） 伊吹 英子氏（野村総研副主任コンサルタント） コーディネーター 水谷 雅一（経営倫理実践研究センター会長）